

城北中央公園調節池(一期)工事

発注者：東京都建設局

施設所在地：東京都板橋区、練馬区

調査見学時期：令和6年4月16日（火）

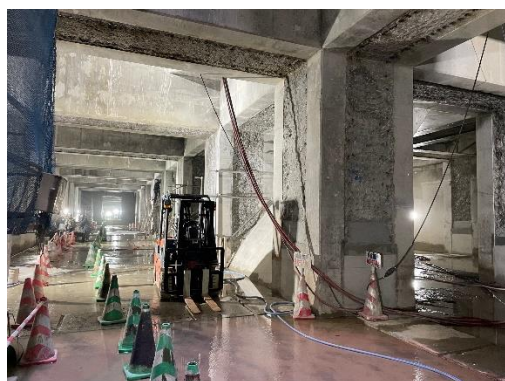
工事概要

城北中央公園調整池は、石神井川の洪水対策として東京都が整備を進めている調整池です。近年、東京都内では1時間当たり50mmを超える豪雨の発生回数が増加傾向にあり、石神井川では1時間当たり75mmの降雨に対応できる河川整備を進めています。

城北中央公園調整池は城北中央公園の地下を利用して整備が進められ、一期工事は、ニューマチックケーソン工（延長80.3m×幅33.4m×深さ35.3m）2函、ケーソン間接続工、調節池内部構築工、取水施設築造工からなっています。ニューマチックケーソン工事は2函同時沈設で行われ、2函合わせた規模は日本最大級で、無事に沈設終了したとのことでした。

見学したときは、ケーソン沈設、内部構築、ケーソン間接続がほぼ終了しており、調整池底部まで下りて、施設のほぼ全容を視察することができました。ケーソン間接続は、将来の維持管理の効率化と地上有効利用のために上下2カ所で進められ、確実な止水のため凍結工法が使われました。視察時、まだ、接続部周辺は凍結の影響が残り、低温状態を体験できました。

城北中央公園調整池は、今後、二期工事が予定されており、一期工事の約9万m³と合わせ、全体では約25万m³の貯留量となり、都民の暮らしを水害から守る施設として機能することになっています。



調整池内部



地上部の状況